

# 学校だより 西山から

令和7年2月発行 特別号  
学校の今をお知らせします  
名古屋市立西山小学校  
電話(052)-701-5181

<https://www.nagoya-c.ed.jp/school/nishiyama-e/>

日頃は、学校教育にご理解とご協力いただきありがとうございます。昨年の12月に実施しました「学校教育に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、お知らせします。



## 学校教育に関するアンケートの結果

アンケート回収数 児童：885人 保護者：203人 教職員：41人

点数の内容 4点：よくあてはまる 3点：ややあてはまる 2点：ややあてはまらない 1点：全くあてはまらない

※ 項目1～8は、上段＝児童 中段＝保護者 下段＝教職員の回答を表します。

※ 項目9～11は、上段＝保護者 下段＝教職員の回答を表します。

※ 表の数字は、回答の割合(%)を表します。太字は、最も多い割合です。

### <挨拶>

		4点	3点	2点	1点
1	自分から進んで挨拶をしている。	35	<b>42</b>	17	6
	お子様は、家庭や地域で挨拶ができています。	38	<b>51</b>	9	2
	子どもたちは、学校で進んで挨拶ができています。	3	<b>68</b>	27	2

校内での挨拶や会釈については、高学年を中心に意識の高まりを感じます。しかし、登校時の挨拶には課題があります。挨拶時の声や表情で相手の変化に気付いたり、関わるきっかけになったりするよさについて、子ども自身が実感し、主体的にできるように工夫していきます。

### <思いやり>

		4点	3点	2点	1点
2	友達に優しくしたり、気持ちを考えて行動したりしている。	<b>57</b>	38	4	1
	お子様は、友達に優しく接したり、気持ちを考えて行動したりすることができています。	47	<b>47</b>	6	0
	子どもたちは、友達に優しく接したり、相手の気持ちを考えて行動したりすることができています。	10	<b>78</b>	12	0

学級の課題や発達段階に応じたソーシャルスキルトレーニングに取り組んだり、朝会での心の成長に関連した話を聞いたりしたことにより、友達との関わり方をよくしていこうと意識を高めました。今後、教職員と保護者が共に、児童の思いや考えに寄り添って見守ったり、心の教育を行ったりすることで、児童がよりよい関わり方を学べるようにしていきたいです。

### <体力>

		4点	3点	2点	1点
3	体育の授業や休み時間には、思い切り体を動かしている。	<b>56</b>	29	11	4
	様々な制約があるものの、お子様は、学校で積極的に体を動かしている。	<b>45</b>	38	13	4
	子どもたちは、制約された教育環境の中で、進んで体を動かしている。	24	<b>76</b>	0	0

運動場使用の制限がある中でも、体育科での運動量の確保や、係活動を活用した運動イベントなどにより、運動に親しむことができました。引き続き、児童が運動に親しむ工夫をしていきます。

### <努力点>

		4点	3点	2点	1点
4	学習を通して、自分に力がついたと思う。	<b>50</b>	40	8	2
	お子様は、学習を通して、力の高まりを実感している。	29	<b>49</b>	19	3
	子どもたちは、学習を通して、力の高まりを実感している。	15	<b>74</b>	8	3

昨年度より、テーマを「いきいきと学び、学び合う児童の育成」とし、これまでの一斉授業の形だけではない、授業づくりをしてきました。児童自身が課題を見付けたり、学ぶ方法を決めたりしたことにより、主体的に取り組み、学ぶ喜びや達成感を味わった結果であると考えます。困っている児童に対して、児童一人一人に合った手立てを考えていきます。

<楽しさ>

		4点	3点	2点	1点
5	学校へ行くのが楽しい。	55	26	13	6
	お子様は、学校へ行くのを楽しみにしている。	49	32	13	6
	子どもたちは、学校での学習や生活を楽しむことができている。	15	83	2	0

8割以上が楽しいと答えています。しかし、「そう思わない」と答えている児童もいます。不安な気持ちへのケアに努めながら、様々な変化に対応できるような心を育てていくことが必要であると考えます。

<けがの防止>

		4点	3点	2点	1点
6	学校のきまりを守り、安全に過ごしている。	50	42	7	1
	お子様は、学校のきまりを守り、安全に気を付けて学校生活を送っている。	57	38	4	1
	子どもたちは、学校のきまりを守り、安全に生活することができている。	5	66	29	0

<防災意識>

		4点	3点	2点	1点
7	火事や地震の避難訓練で、学んだことをしっかりと覚えている。	56	33	9	2
	お子様は、実践的な防災知識を身に付け、自分の身は自分で守ろうとしている。	35	49	15	1
	子どもたちは、防災知識を身に付け、自分の身は自分で守ろうとしている。	21	74	5	0

9月の避難訓練では、とてもスムーズに児童の引き渡しを行うことができました。また、避難場所について、ご家庭で話し合っているという児童が多くいました。災害の種類や状況に応じて、子どもたちが自主的に避難できるように、引き続き指導していきます。

<教育相談>

		4点	3点	2点	1点
8	先生は、何かあったときには、きちんと話を聞いてくれる。	63	28	6	3
	学校は、子どもの話をよく聞き、必要に応じて保護者との連絡をきめ細かく取っている。	40	46	9	5
	子どもたちの話をよく聞き、指導について保護者に連絡を取っている。	35	60	5	0

高学年の児童には、4年時にスクールカウンセラー（SC）と個人面談をし、相談しやすい環境をつくっています。また、担任はもちろん学年の教諭、養護教諭等、学校全体で児童を見守る体制づくりを進めていきます

<防犯>

		4点	3点	2点	1点
9	学校は、門の施錠や解錠を始め、子どもたちの安全な学校生活を守るため、防犯に努めている。	55	39	4	2
	学校は、子どもたちの安全な学校生活を守るため、防犯に努めている。	48	52	0	0

<情報発信>

		4点	3点	2点	1点
10	学校は、学年だよりやホームページなどを通して、子どもたちの様子を公開している。	52	38	8	2
	学校は、学校の取り組みや子どもたちの様子を積極的に公開している。	32	63	5	0

紙面でのお知らせや各たよりを極力減らし、ホームページに掲載したり、きずなネットで電子配信したりしました。「何を学習しているのか見えにくい」というご意見をいただいています。学習者用タブレットを活用して、学習の過程や成果が分かる「デジタルポートフォリオ」等の工夫をしていきます。

<ボランティア>

		4点	3点	2点	1点
11	学校は、地域やPTA、ボランティアの力を活用している。	47	44	8	1
	学校は、ボランティアの力を積極的に活用している。	31	69	0	0

日頃から、PTA活動としての子どもの見守り、地域ボランティアの方による登校の見守りなどをしていただいています。安全に向けた取り組みに尽力いただき、ありがとうございます。

☆いただいたご意見・ご要望も紹介します。集約の都合上、一部まとめています。ご了承ください。

○ 個々の得意な部分を認めて伸ばす教育ができるといいと思っている。

→ 「努力点」の項目でも記述しましたが、授業の主体は児童であることを基に、授業づくりをしています。話すこと、考えること、まとめること、運動すること、演奏すること、見ることなど児童の得意なことは様々です。その時、その場面によって変わることもあります。学校はそれらを把握しながら指導するように努めています。得意なことを学習に生かして、更に学んで伸びていく児童に育ってほしいと願っています。

他にも、多くの貴重なご意見をいただきました。皆様からのご協力に心から感謝いたします。今後の学校運営に生かして参りたいと思います。